

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/小清水和彦

## 「統括センターにおける業務執行体制の見直しについて」の提案を受けました！

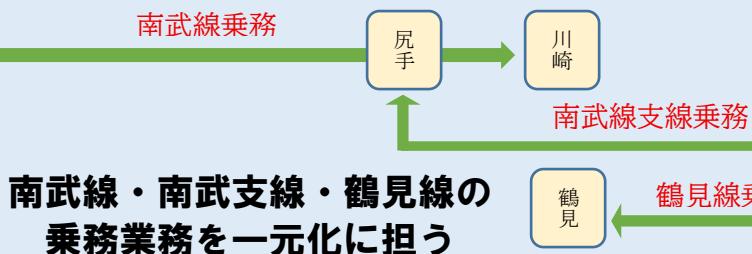
グループ経営ビジョン「勇翔 2034」のもと、新たな働き方を創出することにより、横浜支社における事業本部のコンセプトである「真の一体感を醸成する」「当たり前を超えた働き方ができる」「融合・連携を加速する」の3点が可能な組織を目指していくために体制の見直しを実施するとしています。

1. 実施箇所 川崎統括センター（鶴見駅、南武線オフィス、鶴見線オフィス）  
※2025年12月時点の名称
2. 実施内容 川崎統括センターにおいて乗務業務を一元的に担う新たな働き方を創出する。また、鶴見線オフィスの一部業務は、川崎統括センターの駅が担う。
3. 実施時期 2027年春
4. スケジュール

時期	2025 年度		2026 年度		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
内容	▼提案			訓練・教育及び設備整備	実施

5. その他
  - (1) 必要な周知・教育及び設備整備を実施する。
  - (2) 具体的な実施日及び箇所体制については別途提案する。
  - (3) 鶴見線オフィスの運行管理業務は、横浜指令室(仮称)へ移管する。

見直し後



特徴的な内容

【統括センターにおける業務執行体制の見直しについて】

組合	会社
・双方の乗務員全員が対象となるのか	・基本的には双方の乗務員全員が乗れるようにしていく。
・それぞれの線区で特性が違うが、教育についてはどのように考えているのか。	・線区の特性があることは承知している。そのために必要な教育は実施していくし、訓練期間も十分とっている。
・川崎統括センターの駅が鶴見線オフィスの一部業務を担うとはどのようなことか。	・主に鶴見駅が鶴見線内にある集札箱に入っている切符や現金の回収業務等を担うことを検討している。
・必要な周知・教育及び設備整備とは何か。	・鶴見線オフィスの中にある設備を整備していく予定でいる。
・組織の再編で将来的には別の線区での融合という話が合ったが、なぜこの段階での提案なのか。	・事業本部化も決まり、業務体制の見直しにより業務の融合を加速して行くためでもあり、設備の整備や乗務員の訓練を早めに行う為でもある。
・出勤箇所はどうなるのか。	・働きやすさを考えながら、現場の社員の意見を取り入れ今後検討している。
・施策の実施までに全員が訓練を終えられるのか。	・施策実施までに全員の教育というのは難しい。施策実施後も訓練は引き続き実施していく。

安全・働きやすさについて職場で議論していくこう！